

安全週間を迎えて

7月1日の本週間に先立ち、準備月間中にいろいろな団体から表彰をいただきました。安全週間を迎えるにあたりご紹介いたします。

☆いわて県北地域労働安全衛生推進協議会 標語優秀賞 遠藤 良雄

『今日の安全 明日へ繋げ 永久にみんなが無災害』

☆岩手県労働基準協会 二戸支部 標語優秀賞 坂田 守弘

『職場の改善一歩ずつ 一人の五歩より五人の一歩』

☆岩手県採石工業組合 標語入選 工藤 吉昭

『わからぬことは素直に聞いて 工夫を重ねる明るい職場』

☆日本道路 岩手営業所 安全功績表彰



新社長自己紹介③

調理師専門学校では、高校卒のフレッシュな同級生とともに一年料理を学びました。卒業後は、山梨県清里のペンション村の中にあるレストランイゾルデというフランス料理のレストランで約半年程、屋根裏部屋に住み込みで夏場のハイシーズン働かせていただきました。隣に「ランボウ」というペンションがあったのですが、なんと八戸高校出身のオーナーで、時々同級生だという作家の三浦哲郎さんが泊りに来ていたのです。お会いすることはなかったのですが、当時レストランのオーナーから聞いた話だが、『モーツァルト荘』（新潮社 1987年）という小説に私が登場人物になっているという話があるんですよ！本当かな？（続く・・・）



～メンテナンス～

福島にある八溝マテリアルさんの最新鋭砕砂プラントを見学させていただきました。随所に設備の信頼性を高める工夫が施されている。原料を一定量供給管理する装置、ベルトの蛇行を制御する装置、産物が滞留なく次工程へ流れる工夫等、トラブルにより設備を止めることを未然に防止する思想が感じられた。品質も安全も、設備の安定稼働が前提であり、そのためには行き届いたメンテナンスが重要と感じた。



フクタ

6がつのできごと

子育て支援

『子供は国の宝物』ということでささやかながら子供手当をはじめた。子育てが終わった世代が多い当社ではあるが、少しでも支援できればと思う。老いも若きも大きく子供を育てよう。



大量発生

事務所前の一本の木、異様に葉が薄い。近づいてみると大量の毛虫に葉が食いちぎられていた。この毛虫たちが完全変態を遂げ、夜な夜な事務所の窓に群がる光景を想像すると寒気がする。夜の蝶は街で会いたいものだ。



足元から発信

玄関マットを岩手国体バージョンに変えた。毎日みんなが見るので否応なく、来年は国体があるのだとわかる。人に踏まれ続けてもその役目を全うする。なんと潔いことよ！



ありのまま

恒例の健康診断があった。気になる腹囲と体重は着実に増加しメタボの領域に近づきつつある。困ったものだ。バリウムはざらざら感やどろどろ感が穏和され、味も工夫のあとがうかがえた。進化している。

EE東北を見て

最新の建設関連技術を展示発表するEE東北2015が夢メッセみやぎで開催されました。今回はリサイクル技術に関する展示が多く、特に汚泥や残土の活用技術は震災復興の現場でも採用されこれからの利用拡大が期待されます。従来利用価値がなく捨てられていた物が、資源や資材として活用できることは環境負荷を低減することにつながることで。また、東北地区の地場の企業がいろいろな分野で技術開発に意欲的に取り組んでいることがわかり、心強く感じました。印象に残った展示を紹介します。



☆会場となった夢メッセみやぎ多賀城の広大な敷地に大規模な展示スペースと会議棟を併設した有数の施設



☆事務所で発生するシュレッターダストを粉状になるまで破碎する。紙にはセルロースが含まれているので高含水土砂や汚泥の改良に効果があるとのこと。



☆アスファルト塊、コンクリート塊、レンガ、木くず等をコンクリートで固めた物、ブロック状の物を防潮堤のコア材として利用している。



☆こんな安全柵だと近寄ってさわりたいくなる？

編集後記

温度差が激しく体調を崩してしまいそうですね・・・健康管理に努めましょう！